

JACA No. 36 – 2000

業務用分煙機器性能試験方法指針

Guidelines for test method of tobacco smoke removing apparatus

JACA

社団法人 日本空気清浄協会

JAPAN AIR CLEANING ASSOCIATION

目 次

1. はじめに	1
2. 適用範囲	2
3. 用語の定義	2
4. 種類及び用途	2
5. 性能試験項目	2
5.1 風量試験	2
5.2 集じん性能試験	2
5.3 分煙性能試験	2
5.4 騒音試験	2
5.5 排出オゾン量	2
5.6 適用床面積計算法	2
5.7 メンテナンス期間の目安	2
6. 試験方法総則	2
7. 試験方法	2
7.1 風量試験	2
7.2 集じん性能試験	3
7.3 分煙性能試験	5
7.4 騒音試験	6
7.5 排出オゾン量	6
7.6 適用床面積計算法	8
7.7 メンテナンス期間の目安	8
8. 性能表示	10

解 説

1. まえがき	11
2. 適用範囲及び種類	11
3. 風量試験	11
4. 集じん性能試験	11
5. 分煙性能試験	11
6. 騒音試験	14
7. 排出オゾン量	15
8. 適用床面積計算法	15
9. メンテナンス期間の目安	15
10. 性能表示	16

業務用分煙機器性能試験方法指針

Guidelines for test method of tobacco smoke removing apparatus

JACA No.36-2000

1. はじめに

快適職場環境作りに対する関心が高まるにつれて、分煙機器としての空気清浄機の開発が進み、各方面に使用されるようになってきた。空気清浄機の規格はJIS C 9615-1976に制定されているが、ここで規定された性能、試験方法では分煙機器として必要な性能、試験方法を満足していない。使用者に分煙機器を正しく選定、使用してもらうためには製造メーカー各社が異なった試験方法に基づく性能表示を行なうのでは無く、統一した規格の制定が必要である。

このため、(社)日本空気清浄協会では、平成10年度から業務用分煙機器性能試験方法作成委員会を発足させ、関連する多方面の委員の参加を得て、自主規格としての指針をまとめる作業を行ってきた。

委員会は本委員会と分科会で構成され、平成10年12月から平成11年11月の間に本委員会3回、分科会8回の会合を開催した。

平成11年度を以って委員会の作業はほぼ完了したので、ここにその活動経過と成果を報告する。

委員会構成は以下の通り。

業務用分煙機器性能試験方法作成委員会名簿

(順不同敬称略)

氏名	所属
◎吉澤 晋	愛知淑徳大学
入江 建久	国立公衆衛生院
田中 勇武	産業医科大学
田村 静夫	NTT東京中央健康管理センター
○日吉 勉	㈱山武
○杉田 直記	ミドリ安全㈱
柿沼 弘樹	アシエ工業㈱
中村 厚	エルゴテック㈱
小林 平和	㈱工研社
大谷 光幸	三建設備工業㈱
岡本 安史	大栄産業㈱
一司 雄治	ダイキン工業㈱
榎田 達海	ダイキン工業㈱
白井 忠	東京ダイレック㈱
本間 克典	東京ダイレック㈱
大沢 吉雄	㈱トルネックス
新舎 範一	日本無機㈱
水野 整治	松下精工㈱
馬井 詳幸	三菱電機㈱
石崎 泰司	ミドリ安全㈱
堀川 明弘	㈱山武
戸田 伸一	リコーエレメックス㈱
原 謙仁	リコーエレメックス㈱
大竹 信義	㈱日本空気清浄協会
◎ 委員長	○ 幹事